



岡野クリニック にゅーす

医療法人社団 貴昌会
岡野クリニック
〒343-0808
越谷市赤山本町7-2
☎048-969-0223 FAX048-969-0224

特集コーナー 子宮頸がん予防接種

子宮頸がんは、乳がんに次いで女性のがんとしての死亡率が高く、20〜30代の若い患者が多いとされています。欧米では積極的に行なわれてきた予防接種が、昨年日本でも承認され接種が行なえるようになりました。日本産婦人科学会や日本小児科学会では十代前半にワクチンを接種することを推奨しており、七割が防げるといわれています。しかし課題も多く、3回の接種費用合計は5万円前後にもなりますし、思春期を迎える女児がきちんと理解できるような配慮も必要でしょう。女児をお持ちの親御さんにとっては不安な事も多いと思います。いつでもご相談ください。

訪問看護日誌



「親の介護をされていて、家族の優しさに気付く事もあるんですね」そんな嬉しい声を聞くこともあります。普段はほとんど口も利かない息子が、ベッドの母を起こそうとする時に「おばあちゃん、痛い」と無いか、大丈夫？」と言いながら手を貸してくれたたり、これまで家の事は何もしなかった夫が出勤の際に「ゴミ出

すぞ」と言ってくれます。「何か、母の介護することで家族が助け合うようになっていく気がするの。私に倒れられたら困るからでしょうけどね」そう仰って、素敵な笑顔を見せてくださいました。訪問看護をしていて、「こんな夫婦になれたら、こんな家族は素敵だな」そう思うことがたくさんあります。

ひげトク(うぶ)



先月、後期高齢者の方々には、「ジェネリック医薬品希望カード」がお手元に届いていると思います。当クリニックでは、以前より積極的にジェネリック医薬品を取り入れ、処方しています。ただ病気や体質によつては、ジェネリック医薬品に変更できない場合もあります。高齢者の方々には、医療費に関して不安を感じてらっしゃる方も多いと思います。ご自分が服用されている薬について、解らないことがありましたら遠慮なくご相談ください。

食のすすめ

母乳と育児用ミルク



「母乳で育てたい」厚生労働省の調査によると、妊娠中の母親96%がそう望んでいるという結果が出ています。母乳は、乳児にとって最適な栄養源ですし、感染症

の、発症も低いと言われています。でも母親が感染症を患っていたり、薬を服用していたり、母乳の量が少ない場合には育児用ミルクが必要になります。どの場合も大切なことは、しっかりと抱き、やさしく声をかけ、ゆつたりと授乳することです。この親子のスキンシップは「赤ちゃんを育てている」というお母さんの自覚と自信を育んでくれることでしょう。赤ちゃんは、心が安定した中で初めて口から栄養を摂取する、食育の始まりです。

すたっふ便



旧暦では四月を「卯月(うづき)」といい、文字通り卯の花(うづぎ)というアジサイ科の白い花を咲かせる落葉低木が咲く頃から名づけられた説が一般的です。

さて、今月より医療保険が一部改正になり、窓口負担額が変わってまいります。わからないことがございましたら、受付にお聞きください。

四月の予定ー卯月

休診日 四月 十一日

十八日 二十五日 二十九日



※二十四日(土)は院長が学会出席の為、午後一時まで國方医師が診療します。